

令和7年度 聖籠町放課後子ども教室 事業評価

1 実施状況

(1) 放課後子ども教室開設日

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
蓮野教室	7	17	17	15	17	15	13	11	14	14	9	149
山倉教室	9	14	14	16	14	13	12	9	12	14	9	136
亀代教室	8	17	12	16	16	13	16	10	14	16	9	147

(2) 放課後子ども教室参加のべ人数

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
蓮野教室	319	700	912	805	980	752	533	580	728	715	425	7,449
山倉教室	311	439	559	682	611	566	522	313	461	446	341	5,251
亀代教室	261	481	361	482	452	346	362	264	385	432	216	4,042
月合計	891	1620	1832	1969	2043	1664	1417	1157	1574	1593	982	16,742

(3) 1日当たりの利用児童数

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
蓮野教室	46	41	54	54	58	50	41	53	52	51	47	50
山倉教室	35	31	40	43	44	44	44	35	38	32	38	38
亀代教室	33	28	30	30	28	27	23	26	28	27	24	28

(4) 学年別登録児童数

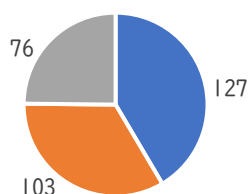
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
蓮野教室	31	26	30	30	6	4	127
山倉教室	21	32	37	4	7	2	103
亀代教室	3	30	26	8	5	4	76

2 アンケート結果 (登録児童数 306 名中 連絡システム登録者 305 名のうち 96 件回答) 回収率 31.5%

(1) 所属内訳

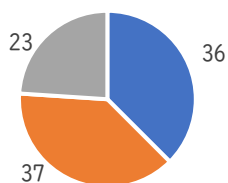
	利用登録児童数	連絡システム登録者数	アンケート回答数
蓮野教室	127	122	36
山倉教室	103	105	37
亀代教室	76	78	23
合計	306	305	96

利用登録児童数



■ 蓮野教室 ■ 山倉教室 ■ 亀代教室

アンケート回答数

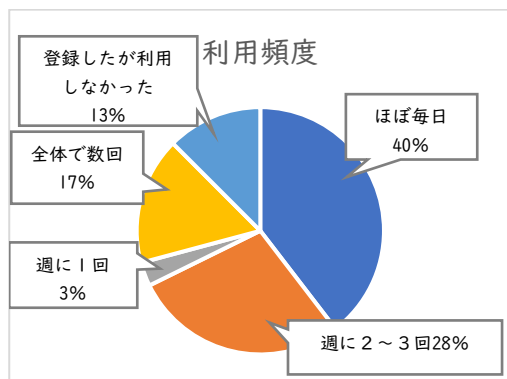


■ 蓮野教室 ■ 山倉教室 ■ 亀代教室

アンケートは、保護者連絡システム「すぐる」を経由して3月18日に配信し、締め切りを3月24日とすることで、約1週間の回答期間を設定した。回答は、利用している児童1名ごとに依頼し、回収率は31.4%であった。回収率が低い要因として、今年度は不審者情報や熊出没情報の影響により、システム登録者数が増加し、児童1人に対して家族複数名が登録しているケースが多くなったことが考えられる。このことにより、結果として回収率が低くなったと思われる。

(2) 放課後子ども教室の利用頻度

Q:どのくらいの頻度で利用していましたか。最も近い頻度を一つ選んでください。



ほぼ毎日が40%、週に2~3回が28%で、回答いただいた利用者のおよそ70%は積極的に利用いただいたことが分かる。実際の開設日数と利用児童延べ人数から1日平均の利用者数は、蓮野小50人、山倉小38人、亀代小28人となり、登録者数から考えるとおよそ40%の利用率で、昨年度と同様の状況だった。

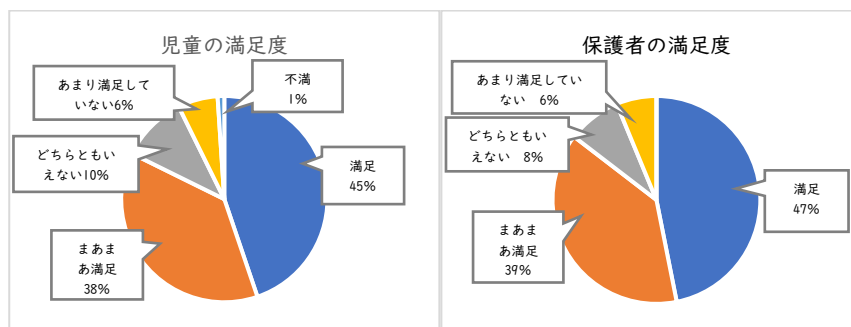
(3) 登録したが利用しなかった理由

Q:登録したが利用しなかった方にお聞きします。それはなぜですか。

選択項目	回答数
1. 子どもが行きたいと言わなかったから	14
2. 利用する機会がなかったから	6
3. その他	4

「子どもが行きたいと言わなかったから」が多数であった。

(4) 利用児童・保護者の満足度



児童の肯定的評価が83%、保護者の肯定的評価が86%であった。児童評価と保護者評価については、多少の差異はあるものの、同傾向といえる。否定的評価の内容を精査し、事業の目的を周知し、安定的な事業運営を目指すことが重要である。

(5) 記述内容

Q:お気づきの点があればご入力ください。

<要望・改善点>

・子ども同士のトラブル	騒がしい状態の改善、トラブルへのフォロー、ルールを守れない子への指導
・利用時間	冬時間の期間見直し
・体験活動の充実	学習活動の強化、運動活動の充実
・帰宅方法	通学バス確保の検討
・教室運営	支援体制の強化、運営の再確認

<感想・評価点>

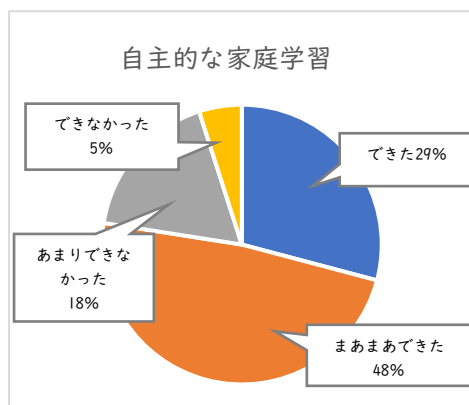
<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろ関われない方と接する機会もあり放課後を毎日楽しみにしています。絵手紙、工作、サッカーなども安全に見守りがある中の活動で安心して利用させていただいています。いつも、ありがとうございます。
<ul style="list-style-type: none"> ・子供の満足度がとても高く特に冬の公園に行くことや自転車で遊びに行けない時期なんかはお友達と体を動かして遊ぶことのできる環境がとてもありがたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・宿題や、いろんな遊びを学び、体を動かしたりで、毎日とても楽しみにしています。指導員の方々には、感謝です。ありがとうございました。
<ul style="list-style-type: none"> ・絵手紙教室等があり、子にとってとても良い経験ができました。ありがとうございました。
<ul style="list-style-type: none"> ・普段運動不足なので、鬼ごっこ等、お友達と体を動かして遊べるのが良いと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・高学年になるにつれ、行っている友達がいないからと行きたがりませんでした。何かあった時はそこにいてもらえると思っていたので安心要素にはなっていました。
<ul style="list-style-type: none"> ・宿題もしてくれるので助かってます。
<ul style="list-style-type: none"> ・絵手紙教室も楽しんでいました。ありがとうございました。
<ul style="list-style-type: none"> ・いつも楽しんで行っています。体育館へ行けることが一番嬉しいようです。

いただいたご意見を踏まえ、今後の改善につなげていく。保護者からは、本事業に対する期待の大きさがうかがえるが、学校の教育活動が優先であること、また、安心安全な居場所とするためには一定の約束や、それぞれの立場からの協力が必要であることについて、理解を図っていく。あわせて、子どもたちが、トラブルや思い通りにならない経験を通して、人と関わりながら成長できる居場所となるよう、事業の一層の充実を図っていく。

3 家庭等における学習習慣の定着

町では、家庭学習習慣の定着を目指し、各小学校において強調週間を設定するなど取組を進めてきているが、学校以外での学習に主体的に取り組むことが課題の一つとなっている。放課後子ども教室の開設による学習タイムの位置付けや、学古堂ジュニア（放課後子ども教室での学習塾講師による宿題サポート）を実施し、学校や家庭以外でも学習に取り組むことができる場の充実を図っている。

そこで、アンケートにおいて、「お子さんは宿題など学校以外での学習に自ら取り組むことができましたか。」という設問を設定し、目標値を各校の家庭学習強調週間の平均値である80%とした。結果は以下のとおりである。



本年度の目標値	本年度の実績値 (R7年度3月)
80%	77%

目標値は達成できなかったものの、77%の児童の保護者が、子どもたちが自ら学習に取り組むことができたことと評価していることから、本事業は自主的な学習機会の提供として、一定程度機能していると判断できる。

4 本格実施に伴い改善した点

- ・放課後子ども教室統括コーディネーター（三教室を巡回指導する専門員）を設置した。
- ・学古堂ジュニアの週1回90分へ拡充した。（教室ごとに曜日を固定し、60分から90分へ延長）
- ・利用料として、消耗品費の実費相当である月額1人100円を徴収することとした。
※4月利用を開始した場合、800円（保険料）+100円（利用料）×11カ月=1,900円
- ・利用者が主体的に利用する居場所であることについて引き続き周知を図った。
- ・児童クラブとの連携は引き続き行った。

5 総括

アンケート結果から、利用児童及び保護者にとって有意義な事業であったと評価できる。事業のさらなる充実を図るためには、予算及び人材確保が重要であるが、事業目的に対する保護者、学校、地域それぞれの立場からの理解と協力が不可欠である。

また、次年度の登録状況からも必要性の高い事業であると判断できる。

令和8年度からも、今年度の反省を踏まえ、町全体の理解と協力が得られる事業となるよう進めていく必要がある。